

- 2) Morii M., Takata H., and Takeguchi N.: The inhibition mechanisms of proton pump inhibitors. International Symposium on Ionic Basis and Energy Metabolism of Epithelial Transport. 1991, 2, Okazaki.
- 3) Sakai H., Okada Y., Morii M., and Takeguchi N.:  $\text{Cl}^-$  channels of acid secreting cells. International Symposium on Ionic and Energy Metabolism of Epithelial Transport. 1991, 2, Okazaki.
- 4) Takeguchi M., Asano S., Tabuchi Y., and Takeguchi N. Gastric-type  $\text{H}^+$ ,  $\text{K}^+$ -ATPase in distal colons. International Symposium on Ion Basis and Energy Metabolism of Epithelial Transport. 1991, 2, Okazaki.
- 5) 小池正彦, 河原克雅, 竹口紀晃: 肝双細胞胆微小細管系における多剤薬物排除ポンプの機能, 第68回日本生理学会大会, 1991, 3, 京都.
- 6) 酒井秀紀, 竹口紀晃: アカハライモリ胃酸分泌細胞の  $\text{Cl}^-$  電流. 第68回日本生理学会大会, 1991, 3, 京都.
- 7) 小池正彦, 柏倉 正, 竹口紀晃: 単離肝細胞のプリナジック刺激による細胞内  $\text{Ca}^{2+}$  濃度, 分布解析とグルコース新生の増強, 日本薬学会第111年会, 1991, 3, 東京.
- 8) 森井孫俊, 南 敬子, 斉藤麻由, 竹口紀晃: 胃プロトンポンプ阻害剤 E3810 の阻害メカニズム, 日本薬学会第111年会, 1991, 3, 東京.
- 9) 竹口紀晃: プロトンポンプの機能とその阻害剤の作用機序. 第23回日本医学会総会シンポジウム一分子レベルからみた消化器疾患, 1991, 4, 京都.
- 10) 神谷誠治, 浅野真司, 竹口紀晃:  $\text{H}^+$ ,  $\text{K}^+$ -ATPase に対するアセチルリン酸の反応性. 日本生化学会北陸支部第9回例会, 1991, 5, 福井.
- 11) 浅野真司, 平沢美穂, 酒井秀紀, 太田光恩, 太田潔江, 竹口紀晃: 胃  $\text{H}^+$ ,  $\text{K}^+$ -ATPase のトポロジーについて, 日本生化学会北陸支部第9回例会, 1991, 5, 福井.
- 12) 竹脇典子, 酒井秀紀, 林 利光, 森田直賢, 浅野真司, 竹口紀晃: Scopadulcic acid B による胃酸分泌阻害, 日本薬学会北陸支部第83回例会, 1991, 6, 富山.
- 13) 竹口紀晃: 胃ペシクルの水およびイオン透過性. 生理学研究所研究会一体内における水構造, NMR-CT, 水・電解質輸送の研究, 1991, 8, 岡崎.
- 14) 神谷誠治, 浅野真司, 竹口紀晃:  $\text{H}^+$ ,  $\text{K}^+$ -ATPase に対するアセチルリン酸の反応. 第64回日本生化学会大会, 1991, 10, 東京.
- 15) 浅野真司, 平沢美穂, 酒井秀紀, 太田光恩, 太田潔江, 竹口紀晃: 胃  $\text{H}^+$ ,  $\text{K}^+$ -ATPase のトポロジーについて, 第64回日本生化学会大会, 1991, 10, 東京.
- 16) 酒井秀紀, 竹口紀晃: 胃酸分泌細胞  $\text{Cl}^-$  チャネルの G-proteins による制御機構. 第13回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 1991, 11, 東京.
- 17) 市村和義, 小池正彦, 柏倉 正, 竹口紀晃, 河原克雅: 肝双細胞における薬物排除ポンプの研究. 第13回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 1991, 11, 東京.
- 18) 森井孫俊, 高橋理佐, 南 敬子, 竹口紀晃: Omeprazole と E3810 による  $\text{H}^+$ ,  $\text{K}^+$ -ATPase 阻害メカニズム. 日本生体エネルギー研究会第17回討論会, 1991, 12, 東京.
- 19) 市村和義, 小池正彦, 柏倉 正, 竹口紀晃, 河原克雅: 顕微蛍光画像処理を用いた正常肝細胞の薬物の排除ポンプの研究. 日本生体エネルギー研究会第17回討論会, 1991, 12, 東京.

## 薬学部附属薬用植物園

助 教 授	吉 崎 正 雄
助 手	鈴 木 正 一
支部技官	藤 野 廣 春
支部技官	辰 尾 良 秋
支部技官	山 崎 紀 仁

### ◆ 原 著

- 1) Hatano T., Yasuhara T., Yoshihara R., Ikegami Y., Matsuda M., Yazaki K., Agata I., Nishibe S., Noro T., Yoshizaki M., and Okuda T.: Inhibitory Effects of Galloylated Flavonoids on Xanthine Oxidase. *Planta Med.* 57: 83-84, 1991.
- 2) 鈴木英世, 村上守一, 吉崎正雄, 原田正敏: キササゲの調整によるカタルポシド, カタルポール, *p*-ヒドロキシ安息香酸の成分変動. *医薬品研究* 22: 359-367, 1991.
- 3) Shimizu M., Matsuzawa T., Suzuki S., Yoshizaki M., and Morita N.: Evaluation of Angelicae Radix (Touki) by the Inhibitory Effect on Platelet Aggregation. *Chem. Pharm. Bull.* 39: 2046-2048, 1991.

#### ◆ 学会報告

- 1) 村上守一, 斉藤晴夫, 藤野廣春, 鈴木正一, 吉崎正雄: 種子繁殖によるシャクヤク成分の変異. 日本薬学会第111年会, 1991, 3, 東京.
- 2) 奥田拓男, 吉田隆志, 波多野力, 久保満希子, 折日照代, 吉崎正雄, 鳴橋直弘: バラ科植物における加水分解性タンニンオリゴマーの分布(2). 日本薬学会第111年会, 1991, 3, 東京.
- 3) 木村正康, 木村郁子, 長浦 健, 古林伸次郎, 吉崎正雄, 門田重利, 菊地 徹: 辛夷成分によるラット培養血管内皮細胞増殖抑制作用. 第8回和漢医薬学会大会, 1991, 8, 大阪.
- 4) 吉崎正雄, 藤野廣春, 鈴木正一, 辰尾良秋, 山崎紀仁: タンジン (*Salvia miltiorrhiza* BUNGE) の栄養繁殖法について. 日本生薬学会第38回年会, 1991, 9, 神戸.
- 5) 鈴木正一, 藤野廣春, 辰尾良秋, 山崎紀仁, 吉崎正雄: 組織培養によるタマザキツラフジの増殖. 日本育種学会第80回講演会, 1991, 10, 新潟.

#### ◆ その他

- 1) 吉崎正雄: 玄参の栽培・育種と品質評価に関する研究. 「和漢薬を含む生物活性天然物・バイオテクノロジー研究, 研究成果報告書」富山県, 60~73, 1991.
- 2) 吉崎正雄: カノコソウの栽培について. 「第1回薬用植物栽培技術フォーラム講演要旨」国立衛生試験所, 33~38, 1991, 7.